

エコアクション21をはじめよう

エコアクション21を取得した事業者にお話を聴きました

有限会社クニモト建設

【本社】 山口市小郡下郷1073-6

【代表者】国本 敏信

【事業内容】

- ① 産業廃棄物中間処理業
- ② 産業廃棄物最終処分業
- ③ 産業廃棄物収集運搬業
- ④ 一般廃棄物収集運搬処分業
- ⑤ 解体工事業
- ⑥ 運送業
- ⑦ 一般土木建設業
- ⑧ 再生材製造販売業(再生砕石、木材チップその他)
- ⑨ 真砂土・散砂販売

【設立】平成元年4月

【エコアクション21取得】令和2年11月



Q. 事業内容を教えてください

- A.** 当社は、解体工事を中心に収集運搬、産業廃棄物の処分・リサイクルまで一貫して行っている産業廃棄物処分業者です。
解体工事等から排出されるコンクリートがらや木くずは、再生品(RC-40、RC-30、木くずチップ)として製造・販売し、道路路盤材やバイオマス発電の燃料等として活用されています。また、近年では運送業も始め、大型深箱ダンプを用いて木質チップの運送や産業廃棄物の収集運搬を行っています。
現在では、山口県内のみならず九州・中国地方へと販路を拡大し、今後の脱炭素社会に向けた社会情勢に対応すべく、さらなる販路拡大を図っています。

Q. エコアクション21の認証を取得したきっかけは？

- A.** 他県の産業廃棄物処分業者との交流がきっかけでエコアクション21を知りました。
当社では、日頃から電力・燃料の節約、低騒音型機械の使用など、環境に配慮した取組を行っていましたが、本当に環境にやさしく、企業経営にプラスとなっているのかを可視化するシステムがなく、実感を得にくい現状がありました。
エコアクション21の環境経営システムを導入することで、現状の解決に加え、「環境に配慮した取組を行う産業廃棄物処分業者」という当社の認知度、社会的評価を高めることができるのではないかと考えました。
また、エコアクション21は優良産廃処理業者の認定要件にもなっており、元々優良産廃処理業者の認定の取得も考えていたため、本格的にエコアクション21の取得を目指すようになりました。

Q. 取得するまでに苦労したことは？

A. 実施体制の構築と二酸化炭素排出量の算出・データ集計に苦労しました。実施体制の構築では、まずエコアクション21に取り組むことを社内に周知することからスタートしました。

しかし、普段の事業活動と離れた取組をしなければならないという印象があり、社員に肯定的な反応が少なく、周知・定着が容易ではありませんでした。

そのうえ、新型コロナの影響で事業活動において制限を強いられた時期と重なり、事業活動以外でのエネルギー使用が見受けられたりと、当初は計画通りの取組が難しい状況もありました。

また、二酸化炭素排出量の算出やデータ集計が、日頃の業務と並行して行うものであったため、負担が大きいという印象がありました。

POINT 解決策

「エコアクション21認証取得支援講座」を活用しました。エコアクション21の概念やガイドラインの内容をここで一から学ぶことができ、自分で情報収集するよりも詳細でわかりやすかったです。

その中で、エコアクション21は社員の理解がなければ効果的な取組にならないと学び、まずは社員に取組自体の難しさ、わずらわしさを払しょくするようなイメージを持ってもらう対策を、講座のサポートをいただきながら考えました。

そして、社員の理解を得やすい取り組み方や無理のない目標を設定してできることから実践することで、少しずつ社員の意識も前向きになりました。

また、講座の中で各種集計作業ツール等を提供いただいたことで集計作業の負担を減らすことができました。

さらに、個別に審査員と相談しながら二酸化炭素排出量の算出・データ集計や環境経営活動の分析、目標数値の設定等も行え、取組の体系化を進めることができました。

Q. 取得して良かったことは？

A. まず、二酸化炭素排出量の削減による経費削減と売上向上につながった点です。

エコアクション21の取組当初は、コロナ禍の影響から廃棄物受入量が減少し、売上が落ち込むことが予想されましたが、リサイクル率向上と解体工事における環境保全対策の徹底推進、エネルギー使用量の節約に社員が意識的に取り組んだことで、売上減少を食い止めることができました。

この時期の業績の向上は、社員のモチベーションアップにもなり、組織の活性化と社員の環境に対する意識向上にもつながっていると思います。

また、他業種の企業からエコアクション21取得について問い合わせが増えたほか、新たな交流が生まれ、取引に発展しました。これには、環境問題への取組を考える企業のエコアクション21への関心の高さや注目度を感じ、こういった側面から地域社会への貢献にもつながるといった新たな発見になりました。

POINT 今後の展望

今後は優良産廃処理業者の認定を取得し、廃棄物処理の技術とリサイクル技術のさらなる向上に取り組むと考えています。

また、社員とコミュニケーションを取りながら環境経営の継続的な改善を行うことで、働きやすい環境整備にも尽力していきます。

さらには、解体工事から中間処理、最終処分、そして環境にやさしい産業廃棄物のリサイクル活動を通じて、「未来の子どもたちのために私たちができることは何か」を追求していくことで、地域社会と環境保全に貢献する企業としてあり続ける取組を行っていきます。

Q. 取得を考えている事業者へのメッセージ

A. エコアクション21は、自社の日頃の業務に合わせて目標設定できるので、自由度もあがりながら環境活動に取り組む足掛かりとして非常に取り入れやすいシステムだと思いますし、環境経営システムの導入は今後の脱炭素社会に向けて企業の新たな経営チャンスになると実感しています。

認証取得支援講座や認証登録助成金など様々なサポートを受けられますので、有効に活用して効率的に認証取得に向けて取り組んでいただけたらと思います。